

【公共政策と市民参加の実際】

市民意見の政策への反映と実施への協力を得るための計画・実践について

☆受講対象者／市民参加活用に関心ある職員
☆研修期間等／1日間【9：30-16：30】
☆講義方式等／講義・演習【個人／グループ】
☆予定講師名／吉田純夫または小針憲一

研修テーマ
政策立案・実施の基本の流れに沿って市民参加の活用方法や自身の担当している職務への適用を学び、来たるべき高齢化社会に適應した新しい時代の自治体運営の可能性を探る。

I. 研修の目的

昨今、福祉・少子高齢化・環境面に対する行政サービスの需要は、身近な自治体に対して期待度は高まりつつある。こうした需要の中で自治体は、今後さらにその施策の実施にあたり住民との良きパートナーとしての役割期待に的確に対応しなければならないのではないのでしょうか？しかし、限られた予算と人手の中でそれをどう実現するのでしょうか。

本研修は、自治体が従前の執行体制から政策体制として、その自治能力の向上と住民との良きコミュニティ（共同体）としての関係構築の目標の下で、各施策等の実施に向けての必要な市民参加の意義・位置づけ・実施について、実態（事例）を教材にして、共に検証（プロセス：質問・配布／回収・活用）しながら、自治体政策の立案・計画・実施・検証の中にいかに市民参加を活用しうるのかについて職員の実務能力の向上を図ることを主眼に展開します。

II. 標準研修スケジュール&内容

★開始時間と終了時間については事前協議可

1日完成型研修	
9：30 開始	開講の挨拶 はじめに オリエンテーション
	I. 「市民参加」の意義と位置づけ 【講義・事例】 (1) 市民参加とその位置づけとは？ (2) 自治体の「市民参加」の種類と実態 (3) 公共政策立案・実施の要点 (住民視線の重要性・有効性について)
12：00	2. 「市民参加」の実際（他の自治体事例を引用） 【講義・事例検証】 (1) 実施に向けての重要な視点 目的・項目・実施方法等（市民意見の一人歩きを防止）
13：00	昼 食
	～事例検討・講師コメント～ (2) 市民参加の課題点を考察する ①課題の選定と討議内容の決定・個人情報等の関係 ②討議結果の妥当性について ③満足度／重要度の基軸・政策への反映と実施 ～事例検討・講師コメント～
	3. まとめ 【講義】 (1) 公聴⇒市民参加⇒市民協働の好循環への向けて (2) 来るべき新しい自治の時代に向けて
16：30 終了	閉講の挨拶 全体質疑応答

特記事項

1. 上記研修内容は、研修進捗状況次第で多少変更される場合があります。
2. 演習事例は、ご要望に応じて適切な内容を提示させていただきます。
3. ご要望に応じて2日間研修も企画可能です

NPO 法人市民討議会推進ネットワーク

〒164-0001 東京都中野区中野 1-43-9

TEL/FAX：03-6874-0047

HP：http://cdpn.jp E-mail：info@cdpn.jp